



アガペワールド (AW)は、英国で正式登録された慈善団体です。太平洋戦争時下、東南アジアで日本軍に捕らえられた軍人元捕虜、民間人抑留者、戦争犠牲者らとその家族らとの心の癒し、和解、交流などを目指しています。

発行: アガペワールド <https://www.agapeworldreconciliation.org/>
代表: 恵子ホームズ 60 Eastbury Way, Swindon SN25 2EW UK aw.kingYos@icloud.com
日本代表: 小菅啓子 victory8068@gmail.com Tel: 090-1266-3390
日本事務局: 藤田宏二郎・美代子 agapeworldjapan@yahoo.co.jp

アガペワールド (以後AW) を支援してくださる皆様、お元気で2023年をお迎えになられましたか。2022年は日本人の入国規制が緩和され、私、恵子ホームズは念願の日本訪問ができました。去年は北海道、東北、関東地方、関西地方、四国も訪れました。主に、小菅 (殆ど全て運転) とホームズが訪問しました。



先ず8月6日、横浜市保土ヶ谷の第26回英連邦戦没捕虜の追悼礼拝にて、スピーチをさせていただきました。英連邦墓地ですので、いくつかの国々のセクションがあります。インターネットの情報では、この墓地内全体の被葬者は約2000人ですが、内約1700人が捕虜として亡くなった方々で、その他は戦後進駐軍として駐留中に死亡した人々や朝鮮戦争の犠牲者とのことです。この行事は、手入れの行き届いた緑の茂みに囲まれた平和な佇まいの墓地で開催されます。捕虜問題・和解に関心のある方は、この8月にぜひご参加ください。

次に、境の谷めぐみ教会でAWのメッセージをさせていただき、北海道に飛びました。ニセコには息子家族が住んでいます。家族、特に2歳の孫との再会は心の安らぎとなりました。札幌の手稲にあるグレースコミュニ

ティにも徐々に、AWのメンバー4人と新しい札幌の友もアガペメンバーとなり参加し、合計五人で訪問し、土日の2日間に渡り、親交を深めました。この教会では家族で集う人たちが多いようです。



グレースコミュニティ教会

その後横浜の小菅宅に宿泊し、懐かしい教会の数々に招いていただきました。初めて訪れた教会には、茨城県小美玉市の小美玉チャペルがあります。この教会の牧師さんの歌声は素晴らしく、まるで歌手が賛美しているようでした。教会堂の脇には大きな池があり、デッキがあり、そこで祈り会などをされ「風情があるなあ」と思いました。夜遅く小菅がちょっとした怪我をし、病院に駆け込みましたが、生ける真の神様に守られ、無事でした。この教会の関連家庭集会在水戸にあり、そこでの集まりでも、新しい主にある友好が生まれました。

次に、三鷹市にある国際キリスト教大学 (ICU) のチャペルアワーと郁子ウィリアムズさんがリードしておられる「ICU和解フォーラム」に招かれました。郁子さんは英国国教会の牧師で、お住いは英国ですが、ご主人がICUの副学長になられ、近年は東京のICUに住んでおられます。英国ではAWのパラダイスランチに参加して下さったり、夏の和解礼拝などでもご協力いただき、お会いすることが多い長年のお付き合いです。



郁子さんの親友、荒川朋子、アジア学院長からもお招きを受けました。当学院は戦争の傷を癒し、友好を築くためにも、東南アジアからの留学生を受け入れ、那須塩原高原で‘農村指導者研修プログラム’を実施。AWは、和解の働きのためにもこの学院でメッセージすることを望んでいたため神様の導きと感謝しました。思いがけず再会した、数十年前から知り合いでアメリカ在住のカウンセラー、Dr Joe Ozawaもセッションに参加していただき、たいへん良い和解の夕べとなりました。親や親族が日本軍によって

受けた戦争犠牲者としての傷跡が、アジアの若者たちの心の奥底で疼いていることが分かりました。学園長を含む私たちは跪いて謝りました。皆さん涙ながらに私たちを抱き締めてくださり、その後は笑顔で私たちに会えたことを喜んでくださいました。数人から「私の国に来てください」との要望がありました。渡航規制が解除されたら、小菅と共に、ぜひ訪ねたいと願っています。今回、アジア学院に一泊させていただき、素晴らしい交流ができました。



アジア学院で。左写真提供：Dr Joe。アジア学院は英語でARI: Asian Rural Institute.

栃木県那須では、私たちが数年前スペインでの「世界宣教大会」でお会いした久留生夏江牧師の家の教会しおんを訪問し、那須高原にある静かな佇まいの教会に2泊させていただきました。那須では懐かしい奥山実・篤先生、世界宣教祈禱をMinistryとしておられる石野兄弟がお茶に招いて下さいました。静かな木立の中のモダンで素敵なTeaShopでの語らい

は、いつまでも残る思い出です。栃木のりんご園（題字の写真）では瑞々しいりんごを買いました。



名古屋では、クリスチャンライフに招かれました。今回は英語でのメッセージでした。ちょうどフィリピンなどの東南アジアの方々もおられ、日本の過去をフィリピンの牧師集会でお詫びした時の思い出も話すことができ、たいへん喜んでいただけました。

名古屋の次は、京都と隣接する三重県IGA上野福音キリスト教会です。この教会の牧師は藤江士善先生ですが、今は息子さんの良嗣牧師に任せておられます。士善先生の珠代夫人（故人）は、若かりし頃の私の母の機械編の先生でした。ハーベストタイムに出た私のインタビューをご覧になって両親に連絡して下さったので、お知り合いになりました。その後は頻繁にお会いしています。今回は、聖霊がアガペのメッセージを通して、若い牧師さんの心の琴線を揺すぶられました。



クリスチャンライフ水野牧師と。クリスチャンライフには牧師さんが数名おられます。

大阪の主イエスキリスト教会には毎年招いていただいています。いつも祈祷室に何日も泊めていただき、時にはそこを拠点にあちこち移動させていただいています。教会にはお料理の達人たちがいて、素敵な朝食を出してくださいます。夕食を用意してくださることもあります。大久保みどり牧師は、捕虜問題、和解の活動には強い関心を寄せてくださっています。またその活動のための大きな協力も、AWにとって大きな励ましとなっています。



また、イエス様がとっておきの出会いに導いてくださいました。非常にお元気で、活躍を続けておられる、有賀喜一牧師ご夫妻がお食事に招いてくださり、素敵なお交わりの時が持てました。



京都では常に京都AW代表の杉野家に宿泊。親しいメンバーや私たちのミニストリーを聴くためにマリ子代表が集めてくれた新しい方々との交流も楽しく、感謝でした。素敵なお庭にも元捕虜関係者が、いつかご招待いただけるとのことです。左: 全員の写真がなくて残念。

2023年のホームズ滞在日程

- 9月7日(木) - 9月20日(水) 北海道
- 9月21日(木) - 10月6日(金) 関東近辺
- 10月6日(土) - 10月23日(火) 関西近辺
- 10月24日(火) - 11月29日(水) 関東地方

再び訪れる恵みにあずかった、兵庫県川辺郡猪名川町にあるチャーチスクールでのこと。私がメッセージの中で「日本人は英語が話せないから、どれだけ損をしていることか」と嘆いたのを聞いた子供たちは、「私たち、英語をがんばります!」と言ってくれ、嬉しく、ホッとしました。Youtubeで学べますよ。

今回は四国にも行くことができました。愛媛県西条市にあるシオン・フルゴスペル・チャーチ(キリスト品川教会西条伝道所)でメッセージさせていただきました。ここでは田端良恵牧師のお住まいが教会となっています。清潔で平安に溢れた誰でも受け入れてくださる、美しい教会でした。牧師さんは高齢ですが非常に若々しく、お元気で優しく、笑顔と愛がいっぱいでした。



シオン・フルゴスペル・チャーチ

学校や大学に関しては、毎年お招きくださる、三田の慶応大学ですが、この学生さんは質問を用意していて、いろんな質問が出て楽しく、時間を忘れました。横浜市六浦にある関東学院大でも2クラス持たせていただきました。こちらは質問は積極的ではありませんでしたが、当てると色々な考えを提出してくれて、皆さんがどんなふう感じ取っているのか、これからの人生にどう活かしていこうとしているかが分かり、非常に楽しく有意義な一時でした。学生さんたちにお話しするのが私の最高の楽しみです。

玉川聖学院中学・高校には初めてお招きいただきました。AWからは3人で伺いました。素敵な制服姿の女学生たちが大きな講堂を埋め尽くし、中学生たちはZoomで参加という形式でした。学園の先生方に大変親切にいただきましたし、希望者たちとの質疑応答の時間も長く取っていただき、若い可愛い学生さんたちとの応答は楽しく、時間の経つのを忘れました。

秋山昌代さんがリーダーを務める明治大学VIPには毎年お招きいただいています。秋山さんの右腕としてVIPのお世話役をしている、大塚桂樹さんが天授の才能を活かして、

AWを紹介する動画を作成してくれました。YouTube上で、ご覧いただけます。

History of Agape World PART 1 <https://www.youtube.com/watch?v=mh55JqfDje0>

History of Agape World PART 2 <https://www.youtube.com/watch?v=Mwvv2tHdjXI>

元戦争捕虜との出会い 恵子ホームズさん金子みちひと牧師（参議院議員）との対談

<https://www.youtube.com/watch?v=vTpccpetsEg>



去年は、肝心の元捕虜の記念碑兼墓がある三重県の紀和町には行けませんでした。熊野の愉快的なメンバーに会うことができなくて、残念でしたが今年に期待。出立前の土曜日には葡萄とマナちゃん、ソラちゃんて有名な、三枝家での集いに招かれました。多くの方々は、CDや動画などでこの可愛い二人の娘さんをご存知のことと思います。ここで「よろこび研究会」の奥田英男氏にお目にかかりました。随分以前に私のサイン入りで「アガペー心の癒しと和解の旅」を求めてくださったことを、奥田氏が思い出させてくれました。

昨年10月には、AWを通じた戦後和解の軌跡が新聞各紙に取り上げられました。秋田さきがけ新聞、静岡新聞、産経新聞、埼玉新聞、伊勢新聞など。アガペのウェブサイト上でお読みいただけます。 左写真：ソラちゃんとマナちゃん。



ホームズの関東学院大学における講演に参加して

アガペワールド日本事務局 藤田宏二郎 記

2019年、2020年に引き続き、2022年も横浜市金沢区に有る関東学院大学の六浦キャンパスにおいて、ホームズの講演の機会が与えられた。昼休みを利用したチャペルの時間には、建築・環境学部の学生45名を含む約60名の方にAWの活動を講演した。限られた時間であったものの、次のような感想が寄せられた。

「34年間の活動の中で元兵士の気持ちを変えることができた話しにとても感動した」、「『私たちの過去は変えられないが、悔い改めることによって、神が赦し、祝福さえしてくださる』という言葉が印象的だった」ー。

午後は、理工学部 豊川慎准教授の授業「キリスト教学—技術者としての戦争と平和の倫理。100分間の2コマをいただき、スライドを使った説明だったので状況がより鮮明に伝わった。

授業の冒頭、豊川先生より、「タイメン鉄道の事例から学ぶ戦争罪責」及び「正当な戦争は有りうるのか？」という提起と画像を使った同鉄道建設の背景と事実に関する説明があった。ホームズは、その建設に関わった自身の親戚の方の証しを紹介したので、出席した合計約240名の学生さんには、より現実的な印象を与えることができた。講演内容の骨子は、いつものように、実際に有った事実に基づく謝罪と赦し、そして和解と癒しへとつながるAWの数々のストーリー。

授業の最後のQ&Aの時間には、次のような質問が有り、学生の皆さんの関心の高さを感じた。「多くの反対に会った時にくじけなかった秘訣は何か?」「(1991年10月)の捕虜の集会で罵声を浴びた時に、やめようと思わなかったのはなぜ?」「クリスチャン人口の少ない日本で、クリスチャンになることに恐れは無かったのか?」「今までの人生で、後悔したり弱気になったりしたことは無いのか?」ー。

これらの質問は、ホームズ自身の信仰に関する事であり、この記事を読まれた方々に証しされる機会が有るようにと願っている。

貴重な授業の時間を使わせて下さった豊川先生をはじめ、宗教センター山田課長、種々の準備をくださったチャプレン室の蒲谷明子さんとスタッフの方々に、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。